

令和2年8月5日(水)、「秋田の未来の物流を考える協議会」に
新たに「先進技術検討WG」を立ち上げました。

協議会の会長である当協会赤上会長から、協議会立ち上げの経緯と産業振興や地域の経済を支える物流が、ドライバー不足により近い将来厳しい局面を迎えることが予想されることから、荷主等関係者との課題の共有を図ることにより、長時間労働解消のための中継輸送や物流効率化のための協業化の推進を始め、他モードも含めた生産性の向上を図ることが必要であり、そのためには先進技術を活用した将来の物流体系の構築が求められるとし、秋田県が全国に先駆けて検討して行きたい旨の挨拶の後、WG設置要領(案)の承認を行い、リーダーに公立大学法人秋田県立大学システム科学技術部情報工学科の飯田一朗教授を選出しました。

その後の意見交換では、構成メンバーからいただいた従来の物流が抱える問題点・改善点や、本WGの議論に加えたいテーマ・課題、秋田の物流が目指す方向性などの事前アンケートの意見や、当協会からの秋田の物流の現状と課題に関する報告などをもとに意見交換を行いました。

第2回目は、先進技術に関する講演を依頼することとし、10月に開催することとして終了しました。

先進技術検討WGの「設置要領」及び「構成メンバー」は別紙のとおりです。

秋田の未来の物流を考える協議会
先進技術検討ワーキンググループ 設置要領（案）

1 名 称

本ワーキンググループ（以下「WG」という。）は、「先進技術検討WG」と称する。

2 目 的

本WGは、将来にわたり持続可能な物流の確保に向け、物流の効率化や生産性向上に資する先進技術について、県内での普及・促進に向けた課題の整理や具体的な活用に関する検討を行い、有効な取組策等を協議会に提言することを目的とする。

3 体 制

本WGは、リーダー（1名）、サブリーダー（1名）、メンバーにて構成し、リーダー及びサブリーダーはWGの構成メンバーの中から互選する。

4 運 営

本WGは、秋田県商業貿易課が運営する（以下「事務局」という。）。

5 構 成

- (1)本WGの構成メンバーは、別表のとおりとする。
- (2)本WGの構成メンバーは、必要に応じて追加できるものとする。
- (3)リーダーは、WGを代表し、検討内容の取りまとめを行う。また、協議会に参加し、検討状況や検討結果等の報告を行う。
- (4)サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーが職務に就けない場合に、その職務を代行する。
- (5)メンバーは、リーダー、サブリーダーのもと、WGに参加し積極的に協力する。

6 情報の取扱い

- (1)本WGの資料及び議事については、非公開とする。
- (2)本WGの参加者は、検討の過程で知り得た情報をWGの承認なく公表、使用しないものとする。

別 表

構成メンバー

	組織・団体名
1	公立大学法人秋田県立大学
2	株式会社NTTドコモ
3	秋田いすゞ自動車株式会社
4	株式会社デンソーソリューション秋田支店
5	日本通運株式会社秋田支店
6	秋印株式会社
7	全日本空輸株式会社秋田支店
8	日本航空株式会社秋田支店
9	日本貨物鉄道株式会社東北支社北東北支店
10	株式会社デジタル・ウント・メア
11	株式会社秋田銀行
12	秋田県倉庫協会
13	公益社団法人秋田県トラック協会
14	国土交通省東北運輸局秋田運輸支局
15	秋田県情報企画課
16	秋田県デジタルイノベーション戦略室
17	秋田県商業貿易課